

雨天と曇天の中に咲く「晴天」に歓喜

—第32回和紙の里文化フェスティバル盛況のうち終了—

5月13日（土）、14日（日）の2日間において、第32回和紙の里文化フェスティバルが開催され、多くの人でにぎわいをみせました。今回は道の駅「和紙の里ひがしちちぶ」となってから初のフェスティバルであり、農産物直売所を目当てにお越になった方で、偶然フェスティバル開催を知った方は「今日はお祭りなのですね、見ていきます」と2度楽しめたようです。



◀今年初！埼玉県立滑川総合高等学校書道部のパフォーマンス！あいにくの雨天でしたが、彼女らの作品は明るく、「晴天」そのものでした。



▲まといが舞う姿は、一瞬一瞬でカタチをかえる、一時も目が離せません。



▲鬼太鼓座（おんでござ）のパフォーマンスは「みんな参加型」。子どもたちから大人まで、パチを持つと楽しそうに太鼓をたたきました。無造作に叩いているようで、そこにはちゃんとリズムがありました。



▲今年も忘れてはいけません！東秩父村マスコットキャラクターわしのちゃんも会場に遊びに来てくれました。かわいいわしのちゃんは大人気！大人でも抱きついたり、握手をしたりしていました。

◀たくさんの演舞、教室、展示会等がフェスティバルを飾ってくれました。舞台出演者や教室体験者は真剣そのもの。

来年はどのような催し物が私たちを感動で包み込んでくれるのでしょうか。皆さんぜひ楽しみにしてください。